

令和7年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

上尾市水道事業実動班総合訓練を実施

令和7年10月2日（木）上尾市上下水道部敷地内におきまして、「令和7年度 上尾市水道事業実動班 総合訓練」を実施しました。

本訓練は、各講習で学んだことを基に、緊急時においても、実動班員全員がより迅速かつ的確な行動がとれるよう行う、実践的な訓練です。本年度は令和6年度より更に実践的な内容とし、午前に机上訓練、午後に実技訓練を実施しました。

机上訓練（午前）

机上訓練は正確に情報を把握し、伝達することだけでなく、得られる情報から解決策を導き出し、対応を行うことを想定した訓練です。出題者より条件の提示を受けた上で、災害対策本部長である上尾市上下水道部長から指名された正・副の総合指揮監督者が、施設復旧班・管路復旧班の各班員を指名し、対応を行いました。

参加者が自ら考え、対応方法を導き出すため、より実際の緊急時に近い形を想定した訓練です。



1. 対応班毎の検討

現場と想定した箇所において、各対応班ごとに情報収集し、指揮本部と連絡を取りながら対応方針を検討しました。合わせて、現場と指揮本部との連絡手段をIP無線機に限定し、非常時においても正確な情報伝達ができるための訓練も実施しました。



施設復旧班



管路復旧班



2. 検討内容発表

訓練終了後、各班毎に対応方法を発表し、参加者全員で確認を行いました。



実技訓練（午後）

開設されている避難所の蛇口から水が出なくなったことへの対応を想定し、「**給水車による応急給水**」を実施しました。トラックへ積載可能な可搬式応急給水タンクによる給水及び、水量が不足した場合を想定した給水車による圧送訓練を行いました。

※給水車から可搬式応急給水タンクへの圧送は、圧送先が受水槽等の場合にも有効な方法です。



1. 可搬式応急給水タンク積載



2. 可搬式応急給水タンクによる応急給水活動



3. 給水車への注水



4. 給水車から可搬式応急給水タンクへの圧送

水が出なくなった避難所の断水原因を、各家庭給水取出装置の破損と想定し、「**木栓及びサドル付き分水栓による応急漏水修繕**」を実施しました。

木栓は、緊急時に限られた材料で止水するための非常に有効な方法です。



1. ハンマーによる木栓の打ち込み



2. サドル付き分水栓の取り付け

閉会

本訓練に対する感想・講評の後、閉会しました。



訓練を終えての感想(正・副 総合指揮監督者)



講評（上下水道部長及び講師）



閉会挨拶（上下水道部次長）

緊急時においても、より迅速かつ
的確な行動がとれるよう、今後も
定期的に訓練を実施します。

